

令和4年度

# 認知症サポート医の活動等 に関する実態調査について

島根県健康福祉部 高齢者福祉課  
地域包括ケア推進室

1



「しまねの地域包括ケア」ポータルサイト開設



QRコード  
携帯電話で  
ホームページに  
アクセスできます。

# 島根県内の認知症サポート医（※敬称略）

R4.3月末現在 107名（累計養成数126名）

- ※ 赤字の医師はR3年度新規養成者
- ※ 青字の医師はR2年度新規養成者
- ※ 市町村名は所属医療機関所在地

隠岐の島町(2)  
有田茂夫・加藤一朗 <隠岐病院>  
西ノ島町(1)  
福田瑤子 <隠岐島前病院>  
海士町(2)  
木田川利行・前田孝弘 <海士診療所>



出雲市(18)  
高橋幸男 <エスポアール出雲クリニック>  
深田倍行 <深田医院>  
土谷治久 <佐田診療所>  
安部哲史・長濱道治・長井篤  
<島根大学医学部附属病院>  
石橋和樹・小田川誠治  
<島根県立中央病院>  
白澤 明・濱田智津子  
<出雲総合医療センター>  
山本大介 <出雲特州会病院>  
金森 隆 <斐川生協病院>  
山崎俊樹 <あいあいクリニック>  
河野公範 <海星病院>  
津村弘人 <つむらファミリークリニック>  
石川厚 <石川脳神経内科医院>  
豊田元哉 <とよだ内科頭痛クリニック>  
高尾碧 <こころの医療センター>

松江市(27)  
櫻井照久・福田賢司・高村睦代・  
石川美保 <こなんホスピタル>  
細田真司 <こころの診療所細田クリニック>  
松嶋永治 <まつしま脳神経内科クリニック>  
妹尾晴夫・柴田昌洋・百瀬勇・宮岡剛・  
清水予旨子 <松江青葉病院>  
吉岡太佑 <吉岡医院>  
杉谷美代子 <いんべ杉谷内科小児科醫院>  
内藤篤 <松江記念病院>  
萬代恵治 <松江刑務所>  
松本和也 <入澤クリニック>  
下山良二・中島健二・古和久典・  
深田育代 <松江医療センター>  
野津立秋 <野津医院>  
泉 明夫 <泉胃腸科医院>  
伊達伸也 <東部島根医療福祉センター>  
坂之上一史・田野俊平 <鹿島病院>  
岡崎哲也 <八雲病院>  
戸田稔子 <松江生協病院>

益田市(8)  
坪内健・藤木僚 <松ヶ丘病院>  
木谷光博 <益田赤十字病院>  
金島新一 <金島胃腸科外科>  
大森治樹 <石見クリニック>  
篠崎克也 <さくらクリニック>  
井上貴雄 <あすかクリニック>  
松本祐二 <松本医院>  
津和野町(1)  
飯島献一 <津和野共存病院>  
吉賀町(2)  
小笠原康二 <小笠原医院>  
谷浦博之 <六日市病院>

浜田市(9)  
中村慎一 <中村医院>  
田中新一 <心療内科田中クリニック>  
彌重博巳 <彌重内科眼科医院>  
沖田浩一 <沖田内科医院>  
松本貴久 <西川病院>  
北條宣政・井上幸哉  
<浜田医療センター>  
笠田守 <笠田医院>  
小池昌弘 <小池医院>

江津市(6)  
中澤芳夫・関本裕・堀江裕  
<済生会江津総合病院>  
山崎一成 <山崎病院>  
花田有二 <花田医院>  
花田昌也 <花田クリニック>

大田市(5)  
岡田和悟 <大田シルバークリニック>  
梅枝伸行 <うめがえ内科クリニック>  
安田英彰 <石東病院>  
山形真吾 <大田総合医育成センター>  
福田理子 <大田市立病院>

川本町(3)  
加藤節司・山口拓也・上杉文彦  
<加藤病院>

美郷町(1)  
秦憲明 <秦クリニック>

邑南町(4)  
河野圭一 <河野医院>  
高橋亮吏 <星ヶ丘クリニック>  
周藤由紀美 <三笠記念クリニック>  
酒井和久 <邑智病院>

安来市(12)  
杉原徳郎 <杉原クリニック>  
野坂啓介 <野坂医院>  
片山征爾・竹下久由・ト藏浩和・  
鎌田佳代子・江原真理子・小村文明・  
角暁美・新宮左知子・河崎雄司  
<安来第一病院>  
新田則之 <介護老人保健施設昌寿苑>

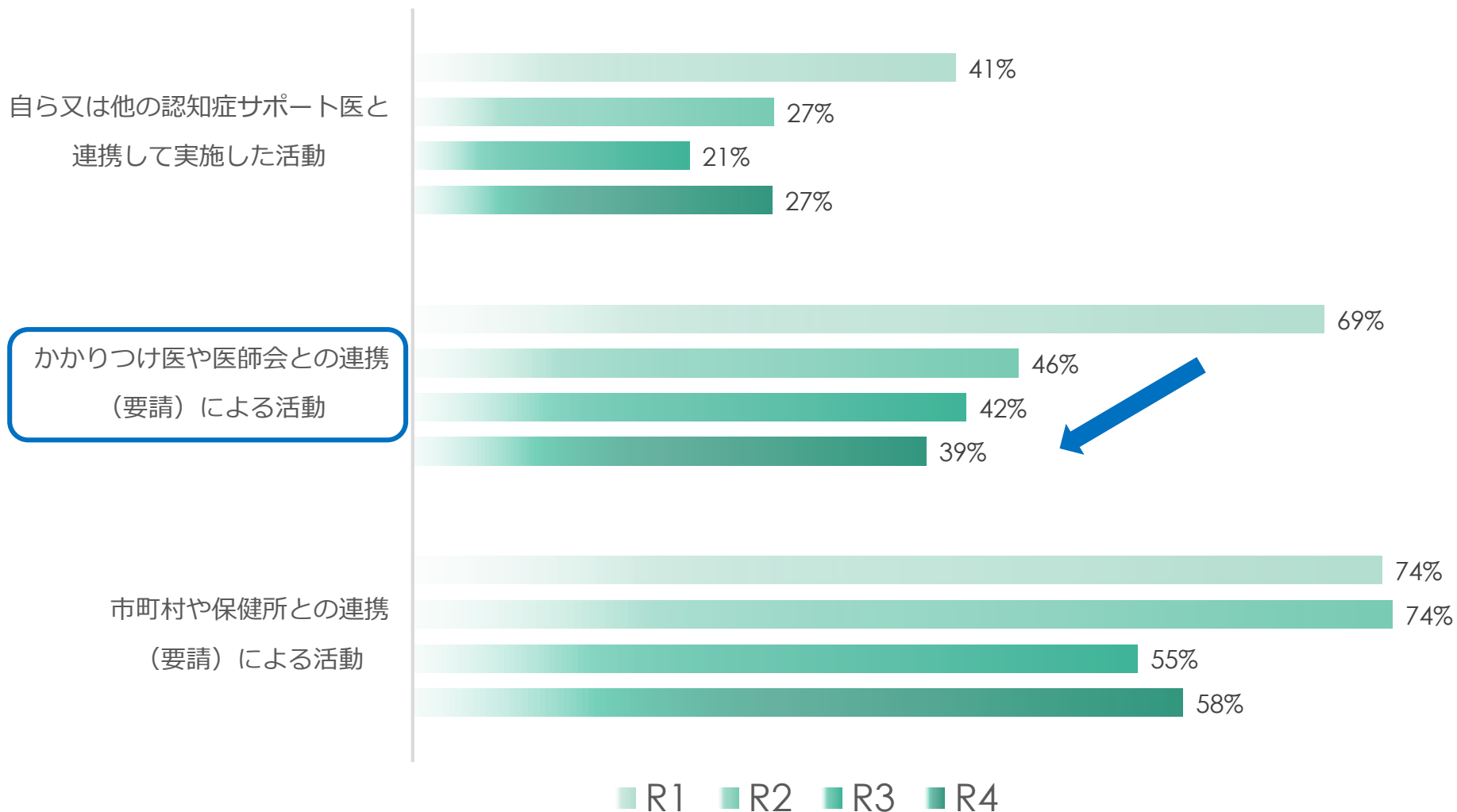
雲南市(3)  
今岡大輔 <奥出雲コスモ病院>  
前木奈津美 <雲南市立病院>  
小黒浩明 <平成記念病院>  
奥出雲町(2)  
山根冠児 <永生クリニック>  
遠藤健史 <奥出雲町立病院>  
飯南町(1)  
松本賢治 <飯南病院>

※ 認知症サポート医への相談や協力依頼など、本来の目的以外での名簿の使用はご遠慮ください

1. 調査時期 令和4年5～6月
2. 調査方法 Web調査  
(しまね電子申請サービス)
3. 対象者 107名 (県内サポート医数)
4. 回答者 78名 (回答率：72.9%)

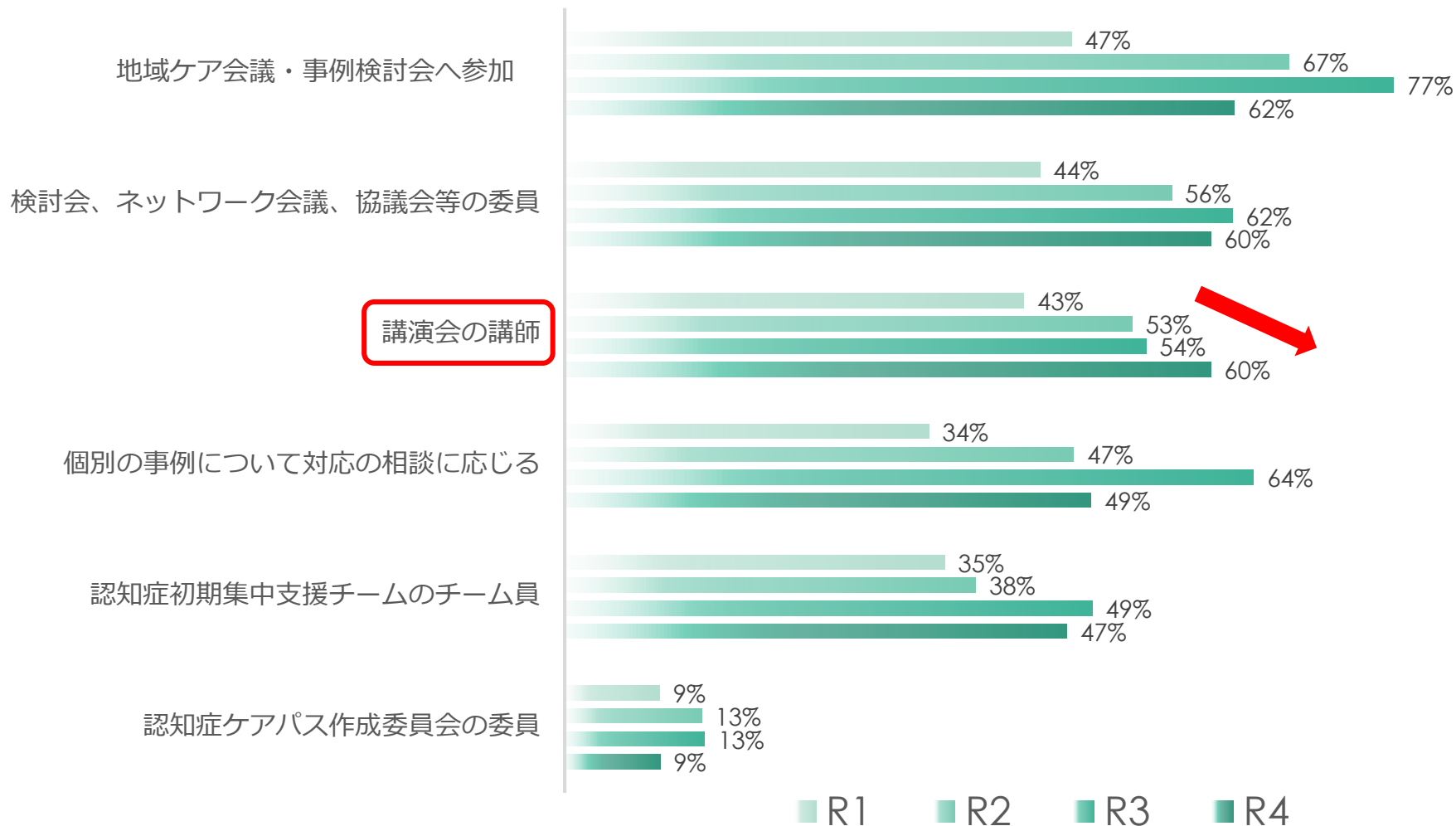
# 結果1 これまでの活動について

## 活動したことがある人の割合



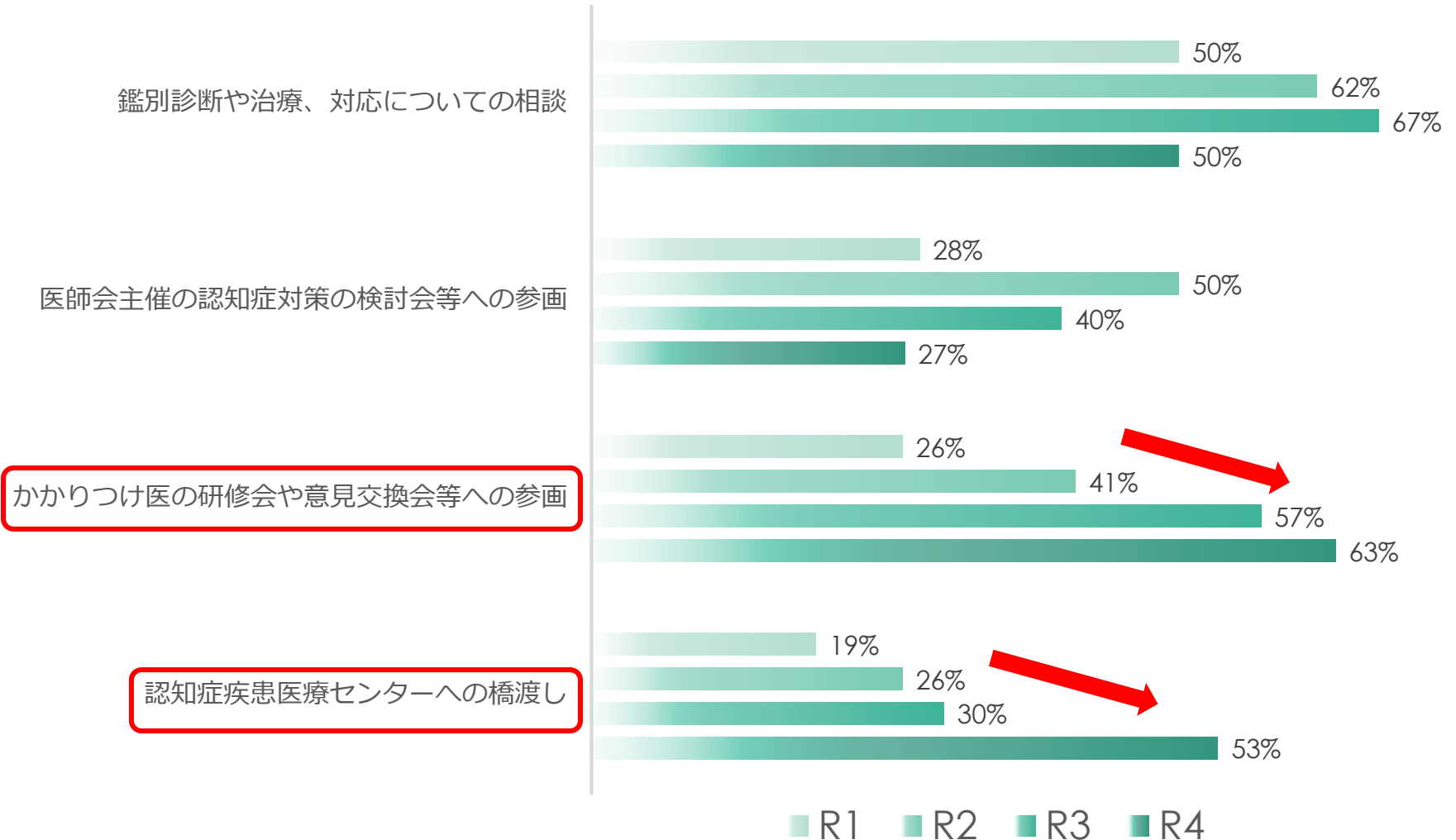
# 結果1 これまでの活動について

## 市町村や保健所との連携（要請）による活動



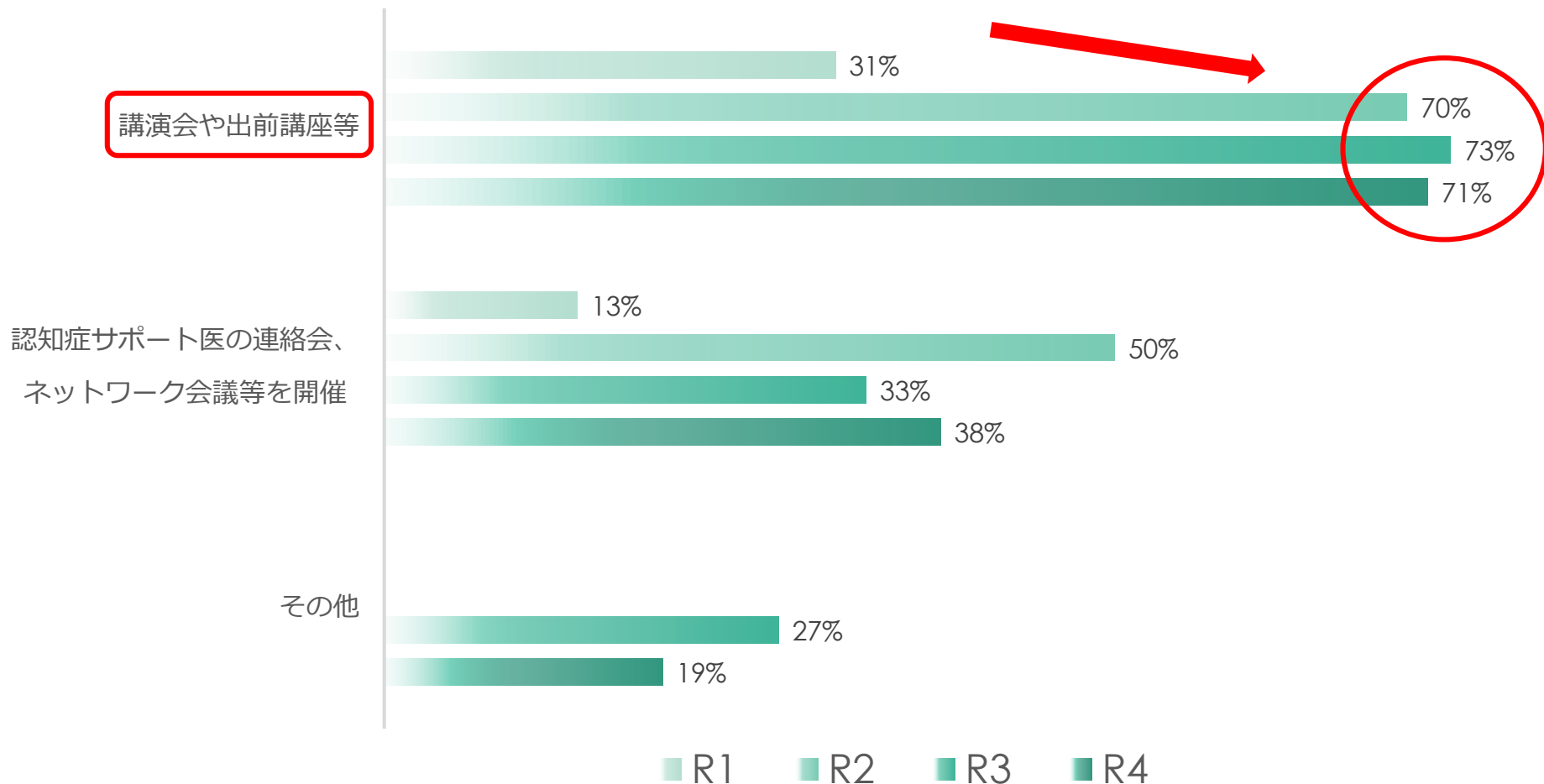
## 結果1 これまでの活動について

## かかりつけ医や医師会との連携（要請）による活動



# 結果 1 これまでの活動について

## 自ら又は他の認知症サポート医と連携して実施した活動



## 自ら又は他の認知症サポート医と連携して実施した活動

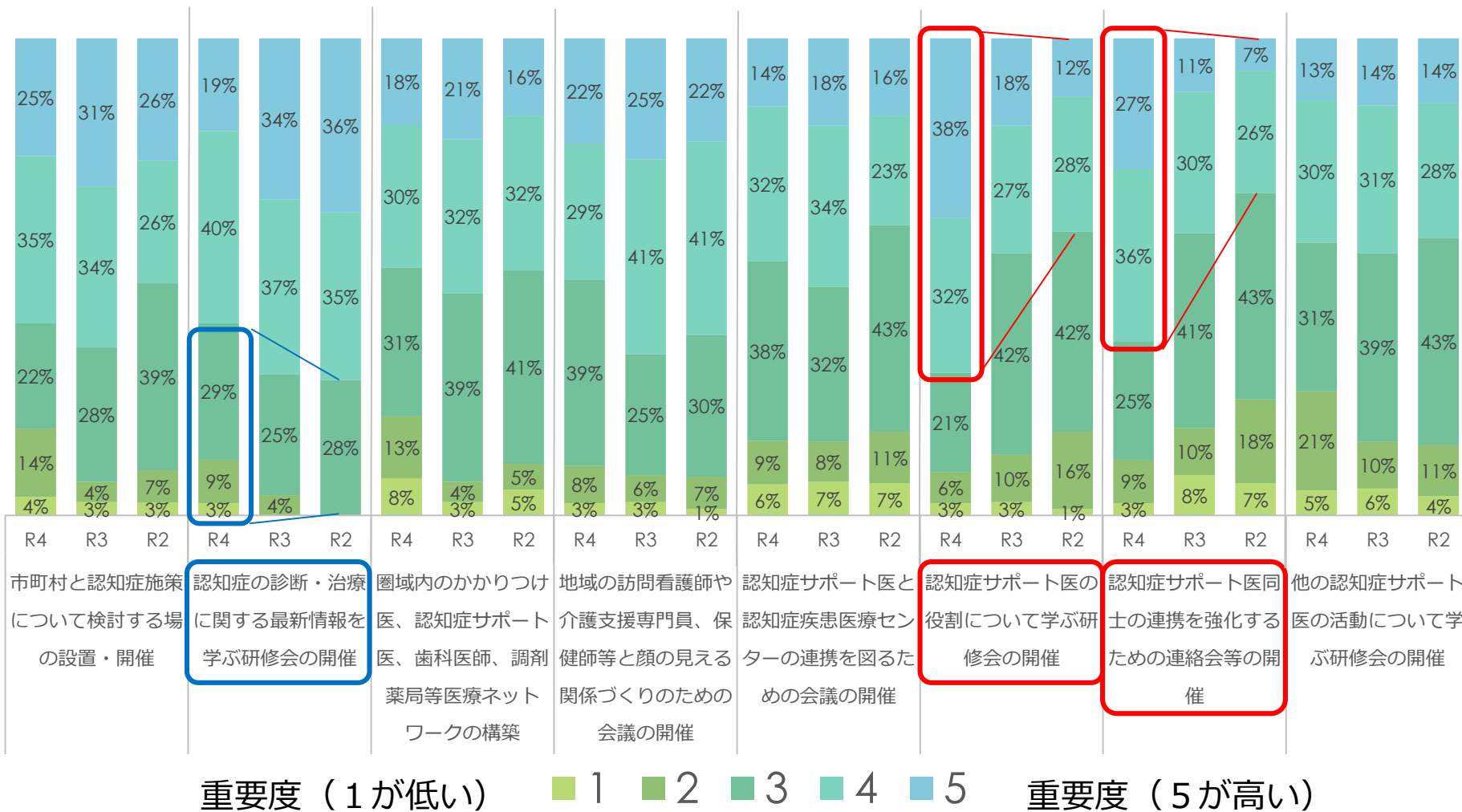
## ※「その他」の回答・・・

- ▷ ケママネやご家族と検討会を実施
- ▷ 認知症予防に関する地域疫学研究の実施
- ▷ 企業と行政の認知症対策に関する連携協定締結の橋渡し



# 結果2 今後の活動について

## 今後活動する上で必要と思う事柄



## 結果2 今後の活動について

### 今後活動したい・できると思う人

認知症初期集中支援チーム員としての参画

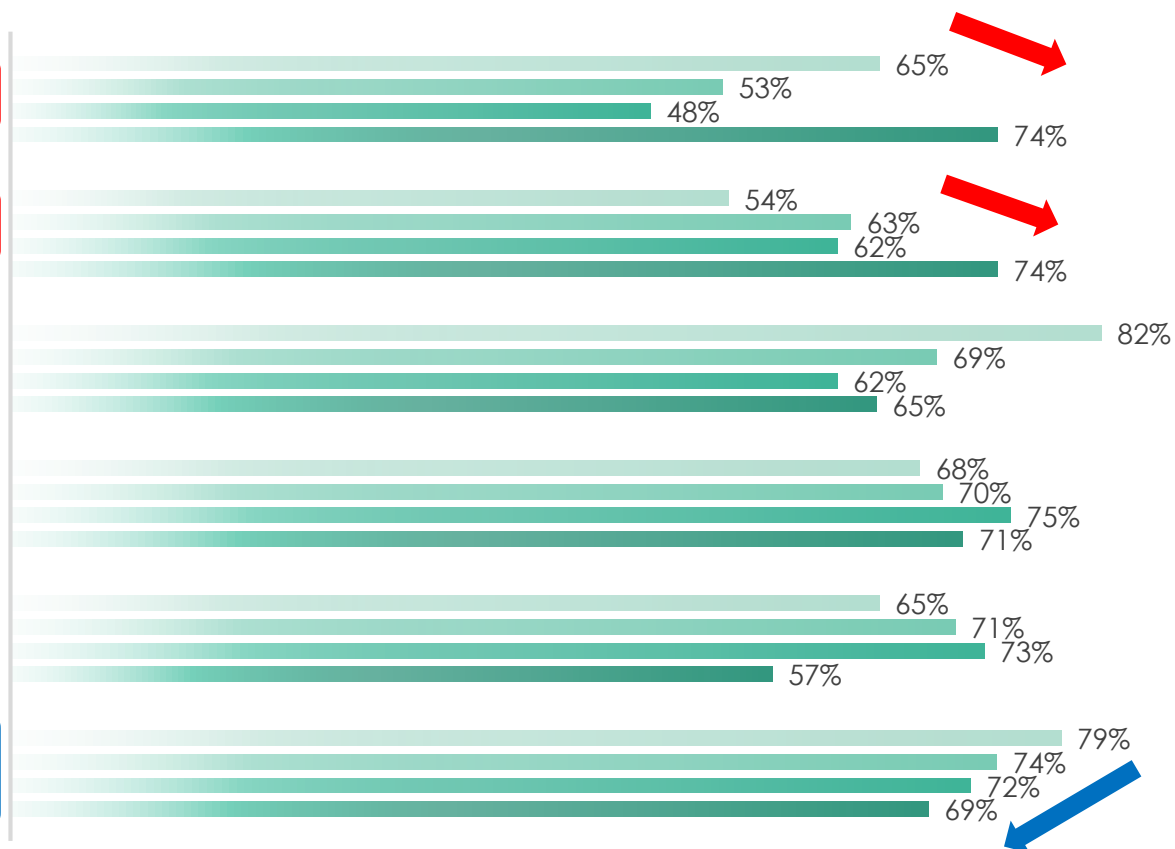
一般住民向けの認知症講演会や教室の講師

ケア会議や事例検討会への参画

市町村や地域包括支援センターからの  
困難事例等の相談に応じる

かかりつけ医からの相談  
(鑑別診断や治療方法等) に応じる

市町村の認知症施策に関する検討会や  
ネットワーク会議への参画



■ R1 ■ R2 ■ R3 ■ R4

## ※ 活動が難しいと思う主な理由・・・

- ▶ 日々の診療に追われ時間を作ることが難しい
- ▶ 日中に時間を作ることが困難・病院外の活動が難しい
- ▶ まだ知識が足りない・専門性にやや乏しい
- ▷ WEB会議は可能

## 活動の機会

- 活動するチャンスがないのが気がかり。
- （具体的な活動の機会が少ないため）サポート医活動に関する各サポート医のレベルを上げるには**サポート医に対する研修会等の機会を増やすことが必要**。
- 認知症の対応は精神科病院が主流で、「サポート医」という言葉がまだ浸透していない印象がある。

## 連携

- 他のサポート医との**連携**などは必要だと考えている。

## 周知

- 認知症を特別扱いすることなく、**高齢になれば皆が認知症になる可能性がある**ということを**周知**して、認知症と上手に付き合っていく、寄り添っていく取組を継続していくことが必要。

## 活動内容

- 「かかりつけ医、医師会との連携（要請）」 …の活動割合が**減少傾向**
- 「講演会の講師」
- 「かかりつけ医の研修会や意見交換等への参画」
- 「認知症疾患医療センターへの橋渡し」 …の活動割合が**増加傾向**

## サポート医として活動する上で今後必要なこと

- 「認知症サポート医の役割について学ぶ研修会の開催」
- 「認知症サポート医同士の連携を強化するための連絡会等の開催」  
…が**重要視**されている

## 今後 “したい・できる” 活動

- 「初期集中支援チーム員としての参画」
- 「一般住民向けの認知症講演会や教室の講師」 …の割合が**増加傾向**

## サポート医の環境整備・資質向上

- **認知症サポート医向け研修会の開催（県・圏域毎）**
  - ・ 認知症研修会、認知症サポート医フォローアップ研修等の開催
    - ⇒ 認知症サポート医の役割理解
    - ⇒ 認知症サポート医のスキルアップ（知識・専門性）

## 連携体制の強化

- **圏域・市町村毎の連携体制の構築（市町村・保健所を中心とした）**
  - ・ 事例検討会、ネットワーク会議等の開催
    - ⇒ 他のサポート医や地域の関係者との連携強化
- **地域連携の推進（県・認知症疾患医療センターを中心とした）**
  - ・ 地域の認知症専門医療に係る研修の実施
  - ・ 地域への認知症に関する情報発信、普及啓発